

また、今まで活動がうまくできなかったという子どもの反省を分析する観点も必要です。私の経験では、子どもたちは次のように分類できそうです。

***責任転嫁タイプ**

活動できなかったことを人のせいにしてしまうタイプ。自分にできることは何だろう、ということを考えさせるようにするといいようです。そして、教師が力を貸してでも成功体験を味わわせることが大切ですね。

***忘れんぼタイプ**

活動すること自体を忘れてしまっているタイプ。ちょっとした活動でもいいので、毎日できることをいっしょに考えてあげるといいです。そして一つでもクリアできたら、しっかりほめてあげましょう。

***責任感欠乏タイプ**

「活動しなければならぬ」という思いが希薄なタイプです。自分の楽しみ（遊びなど）を優先してしまいがち。当番的なものより、本人がやりたいことを重視してみるといいようです。そういうことでも学級（みんな）のためになるということを味わわせるといいです。

***意欲喪失タイプ**

何にでも意欲を示さないタイプです。やること自体を面倒くさがる場合が多いようです。これも本人がやりたいことをいっしょに見つけてあげることが大切です。そして、先生といっしょに活動させてみると効果があります。

係の子どもが、どのタイプに属するかで、指導の方法も変わってくるのではないかと思います。これも教師が押さえるべきことでしょう。

2 学級通信を考える（最終回）～その27：製本する

山口市立平川小学校 梶田崇晴

一年間書きためた学級通信、最後には製本をしましょう。一年間の思い出が詰まった学級通信。きっと、子どもたちだけでなく、保護者の方にも思い出深い一冊になること、間違いありません。

製本するためには、そのことを事前にお知らせしておく必要があります。できれば、学級通信第一号でお知らせしておきたいものです。同時に、学級通信を綴じておくファイルも配っておくとよいでしょう。

最終号は、修了式の前日に出します。そして、綴じておいた学級通信を修了式の日集めるのです。それまでに表紙を印刷しておきます。私の場合は、「レザック」という紙を使っていました。

<http://www.kami.co.jp/M66.htm> …「レザック」の見本
集めた学級通信は、お別れ式までに製本をしておきます。

さて製本ですが、いろいろな方法があります。

印刷所に頼む方法…私が担任をしており、一冊150円くらいでしたが、今はどの
くらいでしょう。

ホチキスで綴じる方法…出した号数にもよりますが、厚いものでも綴じることのでき
るホチキスがあれば可能です。最後に背テープを貼ればできあが
りです。

製本機で製本する方法…私がやっていた方法です。製本機はいろいろな会社から出て
いますが、私はリヒト社の「ブックバインド30」というものを
使っていました。

<http://www.lihit-lab.co.jp/>

お値段はちょっと高いのですが、消耗品のことを考えると、なか
なかの優れものなのです。

新任の年、年間3枚の学級通信を書きました。それが私のスタートでした。4年目、
誘われて行ったサークルで、学級通信は学級づくりの大切な柱であると主張する人と
出会いました。その人の話を聞いてから「学級通信はただの家庭通信」という私の思
いは180°変わってしまいました。それ以来、学級通信に対する思いが大きくなり、
今日に至っています。担任時代は、学級通信を書くことは、私のライフワークとなっ
ていました。特別なことではなく、ごく自然に書くようになったというわけです。

これまで書きためてきた学級通信をめぐりながら、自分自身が学級通信を書く際に気
をつけてきたことを27回にわたってまとめてみました。

読者の皆さんがどのような通信を書かれていたのか、大変興味があります。ぜひ、こ
の「学級通信を考える」にご意見をください。

3 山口学級活動ネットワーク冬の学習会 第一次案内

山口学級活動ネットワークでは、1月に冬の学習会を行います。

今の段階で決まっていることをお知らせします。

山口学級活動ネットワーク 冬の学習会

期 日 平成20年 1月12日(土)

会 場 山口県教育研修所(セミナーパーク)

内 容 (予定)

- 8 : 3 0 受付
9 : 0 0 開会行事
9 : 0 5 基礎講座～新学習指導要領を見据えて
現在, お話をしていただける方をお願いをしています。
1 1 : 0 0 学級会バーチャル体験
1 2 : 3 0 昼食休憩
1 3 : 3 0 対談～特別活動の魅力語る
新潟県の橋本先生, 赤坂先生, 三條先生をお願いしています。
1 5 : 1 5 講演～文科省教科調査官 杉田先生にお話していただく予定です。
1 6 : 4 5 閉会行事
1 8 : 3 0 懇親会

多くの先生方に参加していただきたいと思っています。

正式の案内ができましたら, ホームページからダウンロードできるようにしたいと思っています。しばらくお待ちください。

4 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第48号は11月中旬ごろ発行予定です。

次号は, 「係活動のリーダーシップ」についてお送りする予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は184名です。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。

登録については, 山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん, みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ, 共有していきましょう。

11月といえば学級づくりが少し乱れてくる頃だと言われています。そんな時, 学級づくりではどのようなことに気をつければいいのでしょうか。そこで, 11月の学級づくりについて, 情報交換できたらと思います。先生方が取り組んでおられる実践を紹介してください。

本メールマガジンでは, 今後, 以下のようなことについての情報を交流し合いた

いと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

<実践投稿のヒント>

- 4月頃 出会いの演出・新学期の学級経営
- 5月頃 連休明けの学級経営のポイント
- 6月頃 室内でできる簡単イベント
- 7月頃 夏休み前の学級経営・1学期のまとめ
- 8月頃 子どもとのつながりを考える
- 9月頃 2学期スタートの学級経営・運動会と学級をつなぐ取組み
- 10月頃 意欲的に行事に取り組む手だて
- 11月頃 学級目標の見直し・音楽会と学級づくり
- 12月頃 お楽しみ会の在り方・年賀状と学級づくり
- 1月頃 新年の誓い・新たな気持ちを学級づくりに生かす
- 2月頃 文集づくり・6年生を送る会のシナリオ
- 3月頃 お別れ式の持ち方・先生の通知票

以下のアドレスまでよろしくお願ひします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====